

FVI「声なき者の友」の輪
Friends with the Voiceless International



2013年 春号

URL : <http://www.karashi.net/>

韓国で考えさせられた「教会」のあり方

一月、FVIのパートナー団体・韓国DNA10周年を機に開催されたカンファレンスに参加しました。韓国DNAは「仕える」というスローガンを掲げ、7つのモデルになる教会を選び、これまでの10年間地域社会に仕えることに徹底してきたのです。この姿に私たちが学ぶべきものが多くあることを思わされました。

韓国といえば、国民の20～30%がクリスチャンと言われ、至るところに十字架を掲げた教会が林立し、立派な会堂に数万人の会員を擁するメガサイズの教会も少なくない国です。

数年前、韓国のメガチャーチのひとつで奉仕させていただいた際、集会后、主任牧師と話した時のことを思い出します。この方のスローガンは「Inviting」（多くの人に教会に来ていただく）というものでした。教会の建物、集会、奉仕活動、印刷物すべてに、あの教会に「行ってみたい」と思わせるような工夫が施されていました。非常に印象的でしたので、多くの日本の牧師にもお分かちさせていただきました。

今回奉仕させていただいたのは、DNAモデル教会のひとつで、二つのメガチャーチと同じ地区内でビルのフロアを借りて集会をなさっている「小さな」教会でした。会堂を建てる資金は十分にあるのに、「Serving」（出て行って地域社会に仕える）というスローガンを掲げ、資金を地域社会のために惜しみなく使って来られたのです。教会外の方々から高い評判を勝ち取り、この地区になくってはならない教会だと評価されている姿に「仕えられるためではなく、仕えるために」来られたイエスの姿が重なり、教会のあり方を考えさせられました。

「声なき者の友」の輪 神田英輔

* FVIの働きはセルフサポートのカタリストによって支えられています。献金をもってご支援くださる際には、振り込み用紙に「神田指定」などとカタリスト名をご明記ください。